

みつくら

令和 6年11月15日 第422号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

河川敷で熊・猪対策が行われる

近年熊や猪の被害が多いことから、9区下大瀬川美土里の会（高橋義晃会長）は5月に花巻市有害鳥獣対策アドバイザーを講師に「猪獣害対策研修会」を行った。研修では「個人的ではなく広範囲な電柵設置がより効果大きい」とのアドバイスがあった。葛丸川河川には獣道がたくさんあって個々に電柵を設置しても被害が徐々に拡大しているため事務局の熊谷俊彦さんが岩手県花巻土木センターや花巻市に相談したところ、花巻土木センターが松林寺橋から大瀬川橋までの河川内や管理道路（国の用地分）の雑木の伐採を9月に実施した。この話が進んでいたとき、ふれあい運動公園付近に熊が出没した。薬師堂川の河川も雑木が多く、熊の隠れ家になっているため同じく花巻土木センターに依頼したところ河川敷の雑木の伐採を行っていただいた。有害獣対策は獣が近づきにくい環境作りが有効とのこと。今回の雑木の伐採が効果を発揮することが期待される。

7区農家組合が研修と収穫感謝祭

7区農家組合（辻村吏組合長、組合員41名）では10月27日、7区自治公民館で花巻農協石鳥谷支店の佐藤秀和組合員課長を講師に「令和6年の水稻育成状況と反省点」と題して農業研修会を開催し26名が出席した。組合員からは、今年の稲作の生育状況や今後の展望など活発な意見交換がなされた。研修の終了後は、講師も交えて収穫感謝祭が開かれ、久しぶりの懇親の場となった。

大瀬川が男子バレーボール8連覇

10月20日に石鳥谷体育館で行われた石鳥谷町体育協会の主催の第51回石鳥谷9人制バレーボール大会で大瀬川チームが優勝し8連覇を成し遂げた。大会には4チームが出場し、初戦は新堀チームと対戦、決勝戦では好地チームにフルセットで勝ち優勝した。優勝カップのリボンを数えるとなんと8連覇であった。大瀬川の選手は板垣頼幸さん、板垣圭介さん、板垣拓海さん、板垣春介さん、板垣伸吾さん、板垣暁

幸さん、菅原崇将さん、菅原茂さんであった。

大瀬川交通安全母の会が解散

花巻市交通安全母の会連合会石鳥谷地域母の会連合会が令和6年3月に解散したのに伴い、大瀬川交通安全母の会も令和6年9月30日に解散した。大瀬川交通安全母の会の発足は昭和45年で、以来54年間にわたって地区の交通安全に寄与した。飲酒運転撲滅運動の呼びかけや、交通安全パレード、自転車教室、ガードレール清掃など多くの活動が思い起こされる。歴代役員（敬称略）は発足時の役員の記録がないため判明分のみ、昭和50年会長菅原ヒサ（伊助家）、昭和51年会長辻村澄江、昭和52年会長畠山ノブ子、昭和53年会長熊谷裕子、昭和54年会長畠山三千代、副会長熊谷君子、高橋スミ子、昭和56年会長熊谷ハルエ、副会長板垣和子（松木田家）、菅原ヤス子（萬吉家）、平成9年板垣ケイ子（高田竈家）、平成12年会長菅原泰子、副会長菅原時子、熊谷多美子、平成17年会長安部和子、副会長板垣征子、菅原めぐみ、平成18年から花巻市交通安全母の会連合会大瀬川分会平成19年会長菅原めぐみ、副会長畠山牧子、熊谷博子、平成22年辻村ゆかり、板垣たか子、平成25年会長菅原みさ子、副会長菅原治子、菅原文子（茶畑竈家）、平成27年会長藤原芳子、副会長畠山真理、事務局板垣初美、平成29年会長熊谷京子（木ノ宮家）、副会長菅原幸代、熊谷政子、平成30年会長熊谷政子、副会長菅原幸代、事務局板垣あや子、令和元年会長辻村契子、副会長板垣あや子、事務局菅原仁子、令和2年会長辻村契子、副会長熊谷美恵子、事務局菅原仁子、令和3年会長菅原茂子、副会長畠山牧子、事務局熊谷美恵子、令和4年会長畠山牧子、副会長菅原ふみ子（トタン家）、事務局菅原茂子。令和5年会長菅原征代であった。

7区のSDGs講習会で風呂敷の活用法

SDGs（エスディー・ジーズ）「持続可能な開発目標」。世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんなで2030年までに解決していこうという意味らしい。その講習会が7区農家組合女性部（辻村信江部長）主催で7区自治公民館で開かれ14名が参加した。テーマは「風呂敷の包み方と活用法」で講師は川邊弥生県環境アドバイザー。内容は「風呂敷は日本の伝統」「風呂敷の名前の由来」生活に欠かせない風呂敷」「包むから運ぶへ」「心を包む風呂敷」など。辻村信江さんは「風呂敷で作るエコバックやリュック、帽子、ウエストポーチ、ペットボトルの包み方など暮らしに役立つ研修会になりました。ある調査によると、1年間に一人が使うレジ袋は300枚というデータがあるそうで、こうして作ったエコバックを使うことで、プラごみの削減がSDGsの目標に近づくとのことのお話でした」と話していた。

市民芸術祭石鳥谷会場に出展や出演

花巻市民芸術祭石鳥谷会場に、大瀬川からは熊谷満子さんが裂き織りの手提げバック、熊谷静香さんが書道の「陸遊詩」の2点が、デザインには菅原時生（小2）さん、熊谷朋久（中3）さん、書写は熊谷心々（小3）さん、熊谷陽麻梨（小4）さん。発表部門では

石鳥谷学園歌唱クラブの菅原佳子さんが出演した。

8区で額アレンジフラワーと七宝焼き教室

8区農家組合生活部（板垣江利子部長）主催の額アレンジフラワー教室が10月26日に大瀬川振興センターで14名が参加して開かれた。20cm角の木の額に、様々な造花やリボンなどを配置して接着して作る。出前講座講師の吉田昌子さんから指導を受けながら1時間半ほどで美しいアレンジフラワーが出来上がった。講師から「自然の素材を使っているの、日差しの当たらない所に飾るように」と教えられた。また同生活部では、11月1日に大瀬川振興センターで11名が参加して七宝焼き教室も開催した。講師は出前講座講師の平賀喜代美さんで、黒地に金をあしらったカラフルなアクセサリーや小物入れを制作した。電気炉で焼いた後、冷めた後の発色を確認しながら釉薬を重ね二度、三度焼き上げた。この作品は大瀬川地区文化祭にも出展された。

表彰

東北地方保護司連盟会長表彰 高橋義晃さん
 岩手県更生保護協会理事長表彰 高橋義晃さん

たんぼぼの会落語で大笑いの収穫感謝祭

10月30日にたんぼぼの会（熊谷幸子会長）主催の収穫感謝祭が9区自治公民館で開かれ25名が参加した。今回は出前講座講師の星鴉宮さんと星布団さんの寄席で楽しんだ。落語に先立ち、熊谷会長は「今日は、農作業もあらかたになりましたので、落語を楽しんでください」と挨拶した。高座に星鴉宮さんが座ると、自己紹介をしながら一席目の落語を噺（はな）した。内容は子供がテストで5点しか取れず、親御さんが先生と掛け合い、段々に点数を上げていく。二席目は星布団さんで、古典落語の間抜けな泥棒の話で泥棒との掛け合いはダイナミックであった。三席目は星鴉宮さんの新人社員と社長の噺。社員を「童謡酒場」に連れて歌うもので、客席の皆さんも一緒に歌いながら楽しんでいた。

編集こぼれ話

あるところの大型冷蔵庫でヨーグルトが見つかった。「見つかった」というのは、何と賞味期限が11年前の平成25年5月16日。保管されていたのは1個75gの加糖ヨーグルト200個、総量1.5kg。いかに大型冷蔵庫といえども10年以上も見逃していたものだ。さてこのヨーグルト、未開封とはいえ実際食べられるのか、はたまた乳酸菌は生きていますかあるところの分析を依頼した。結果は「見た目はやや黄色味がかっており、チーズのような発酵臭があるが、ヨーグルトの形状を維持し、特徴である粘りも見られた。大腸菌は検出されず、生きた乳酸菌は1ml当たり1億個が検出された。これにより、アルミパウチの有効性が証明された」。何と10年以上経っても食べられるようだ。にしても、味見には勇気がいる。